

# 2024年問題乗り越える 強靱な経営基盤・物流基盤を構築する

## 物流2024年問題対策 コンサルティング

物流業者向け

詳しいご内容・お打ち合わせをご希望の場合は、  
下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：  
株式会社日本能率協会コンサルティング  
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://www.jmac.co.jp/inquiry/reply/contact.html>  
お問い合わせ番号：03-4531-4307



お問い合わせフォーム

## 物流2024年問題とは

2024年4月1日以降、働き方改革関連法に基づき「自動車運転業務」の従事者(トラックドライバーなど)に対して年間の時間外労働時間の上限が960時間に制限されます。  
「物流2024年問題」とは、この法改正によって物流関連領域で発生するさまざまな問題の総称です。

この「物流2024年問題」は産業界に以下のような影響を及ぼすと言われています。

- トラックドライバーの収入減少により人材流出が起こる、ドライバー人材確保がより難しくなる
- これまでのサービスレベルを維持することができなくなる
- これまでより一層物量コストが増加する
- 最悪の場合は、モノを運ぶことができなくなる

### RISK

- 時間の制約により長距離輸送への対応が難しくなる
- 現行の集荷時間・ $\times$ 時間では荷主要望へ対応できない
- 配送可能な物量が少なくなるため売上減少のリスクがある
- ドライバー人材の流出及び、確保難が起こる
- 労務管理の状況によっては法令違反リスクがある

## 想定される課題

- 収益適正化を目指し、適正な運賃体系を構築したい  
運賃交渉するための説得材料が欲しい
- 荷主企業などの顧客に対する交渉など、外部折衝のための資料がほしい
- 労働時間規制の中でもサービスレベルを可能な限り維持したい
- 労働時間規制による、運送効率が低下をふせぐためのプロセス改善がしたい
- 今後のドライバー雇用難を想定した、人事制度の見直しや働き方改革など従業員の方々のエンゲージメント改善、採用戦略を立案したい
- 労働環境の改善、従業員のエンゲージメントを向上させたい
- 上記を実行するために物流に限らず関連部門や外部企業のメンバーを巻き込み、抜本的な物流改革を推進したい
- 改善・改革業務を通じて、「考え方」「改善視点」「管理方法」「リーダーとしての行動」など、個人や組織の成長を促し、持続可能な組織体制を構築したい




2024年問題を乗り越える強靱な経営基盤・物流基盤を構築する！

物流プロセスの実態は多くの場合、発着荷主など複数のプレーヤーを横断するプロセスであるため実態が掴みにくい特性があります。それ故に、自社の物流プロセスにおいてどこが問題になっているのかが分からず、どこから手を付けていけばいいか分からない状況です。

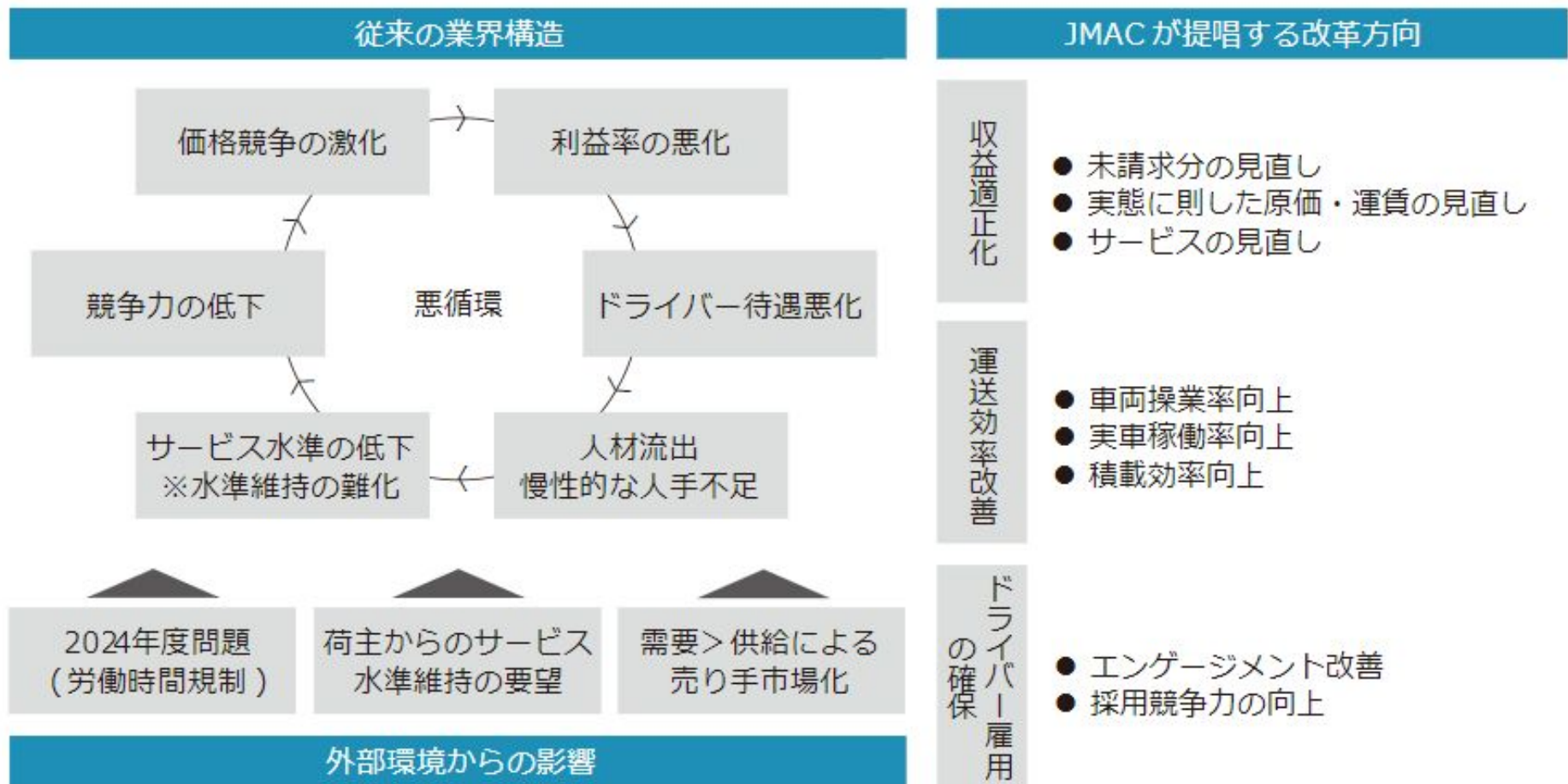
また、物流事業者が単体で改善できることには限界があるため、必然的に荷主企業との連携、または荷主の顧客との利害調整も含めた連携が欠かせません。

### JMACの 特徴

JMACでは、ブラックボックス化した現状の物流を定量的・定性的に可視化することで問題・課題構造を明確にし、物流に限らず関連部門や外部企業のメンバーを巻き込み、抜本的且つ持続可能な物流改革を推進します。



改善・改革業務を通じて、「考え方」「改善視点」「管理方法」「リーダーとしての行動」など、個人や組織の成長を促し、改革構想を「絵に描いた餅」で終わらせることなく、成果を刈り取れるように個社に適した支援をすることに取り組んでいます。



3ヶ月～の期間にて改革に向けた構想策定をご支援させていただきます。  
※実行フェーズは本フェーズの後の活動となります。

現状分析	<ul style="list-style-type: none"><li>● 目的設定</li><li>● サービスレベル分析</li><li>● コスト構造</li><li>● 運送効率分析</li><li>● 組織課題分析</li></ul>
問題・課題構造の整理	<ul style="list-style-type: none"><li>● 現状分析の取りまとめ</li><li>● 問題・課題構造の整理およびディスカッション</li><li>● 改革テーマ仮説の立案</li></ul>
改革方向性立案	<ul style="list-style-type: none"><li>● 改革テーマ、改善施策の効果試算</li><li>● 上記の比較評価</li><li>● 改革パターンの設定・評価</li></ul>
マスタープラン作成	<ul style="list-style-type: none"><li>● 改革実現に向けた阻害要因の整理</li><li>● 上記解決に向けた課題整理</li><li>● マスタープラン・実行計画の作成</li></ul>

コンサルティングステップにおいてJMACは以下のような価値を提供します。

## 分析力

徹底した現状分析による  
実態の可視化

改革を進める上では、自社においてどのプロセスにどれだけの改革余地があるのか把握することが最優先事項。IEをベースにした分析技術や物流DXツールなどの活用も併せて適用することで現状を定性的・定量的に可視化することを実現。

## 連携力

機能横断で見た全体最適  
での改革推進

物流は業務特性上、製造、調達、販売などさまざまな機能・部門による制約が強く、機能単体での個別改善では実施できることにも限度がある状況。第三者として俯瞰的に物流とそれを取りまく全体を検討対象とすることで、従来では実現できなかった大きな改革構想を立案。

## 実現力

成果創出まで一貫した  
プロジェクトマネジメント

物流改革プロジェクトは、発荷主、着荷主、それぞれのお客様など、様々な利害関係者との活動。改革構想フェーズから実行フェーズまで一貫してマネジメントを行うことで、成果が実現できるように着実に伴走・推進。

## 対象部門

- 物流事業者(物流子会社等を含む)
- 物流管理(ロジスティクス・SCM管理)部門、経営企画部門 など

## Case

業界	物流事業者(倉庫・運送・港湾)
テーマ	収支適正化にむけた運賃タリフの改訂
背景	人件費や燃料費の高騰による利益率の悪化 従業員への報酬還元
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"><li>●収支の可視化(顧客別の収支と費用の内訳整理)</li><li>●重要顧客の設定と収支分析</li><li>●低利益率顧客に対する運賃交渉アプローチ など</li></ul>



## 面談

貴社課題について理解し、JMACのアプローチの説明、ご提案の方向性についてご相談します。  
必要に応じて、NDAをご準備します。  
現場視察により理解を深めさせていただく場合もございます。

## 提案

お打ち合わせ内容を踏まえて、貴社課題に添ったコンサルティング計画提案書をご提示させていただきます。

## 契約

JMACご提案を採用いただきましたら、業務委託契約書の締結準備をさせていただきます。

## 実施

コンサルティングを実施スタートいたします。  
キックオフを経て、  
■現状分析  
■関係者ミーティング  
■改善支援  
■推進報告会  
を実施しながら課題解決に努めます。

お問い合わせ先：  
株式会社日本能率協会コンサルティング  
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://www.jmac.co.jp/inquiry/reply/contact.html>  
お問い合わせ電話番号：03-4531-4307